

# インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 2 週( 2025/1/6~1/12 ) 感染症発生動向調査速報値 ( 2025/1/15 時点)】

定点医療機関※新規患者報告数： **1,661** 人、定点医療機関当たり **34.60** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点 (小児科29定点、内科19定点)

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

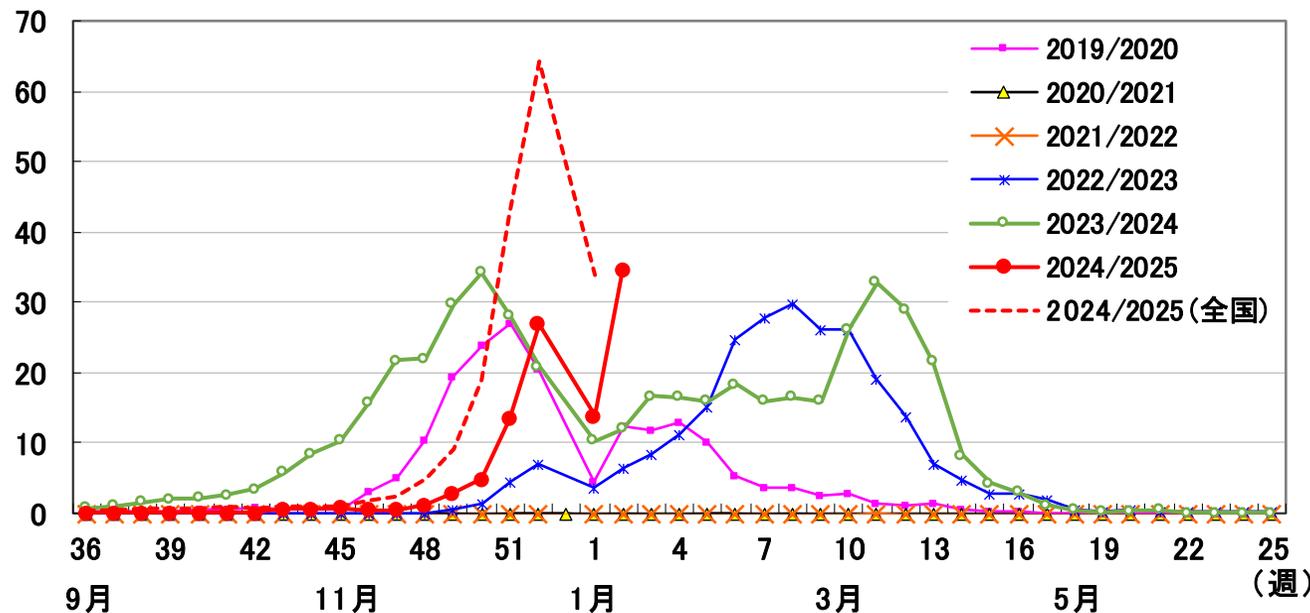
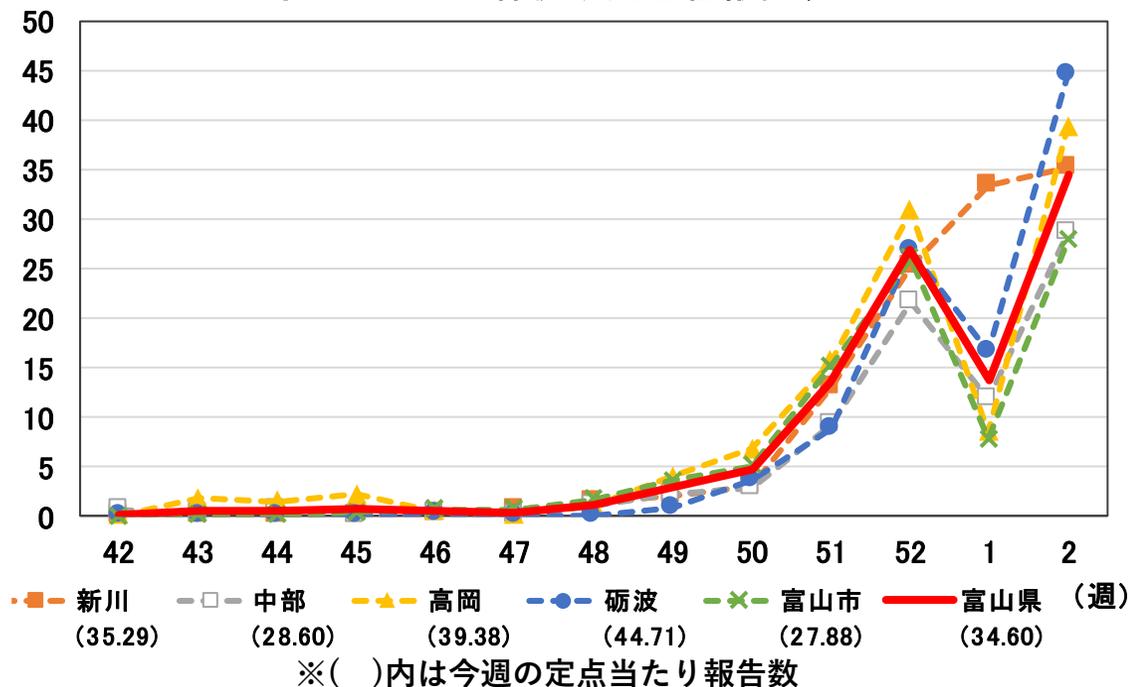


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数



- 富山県の患者報告数(図1)は今週34.60人/定点となり、先週(13.82人/定点)から大きく増加し、警報レベルの基準である30人/定点を超えた。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、全ての管内で先週から増加した。新川、高岡、砺波管内では、警報レベルの基準である30人/定点を超えている。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

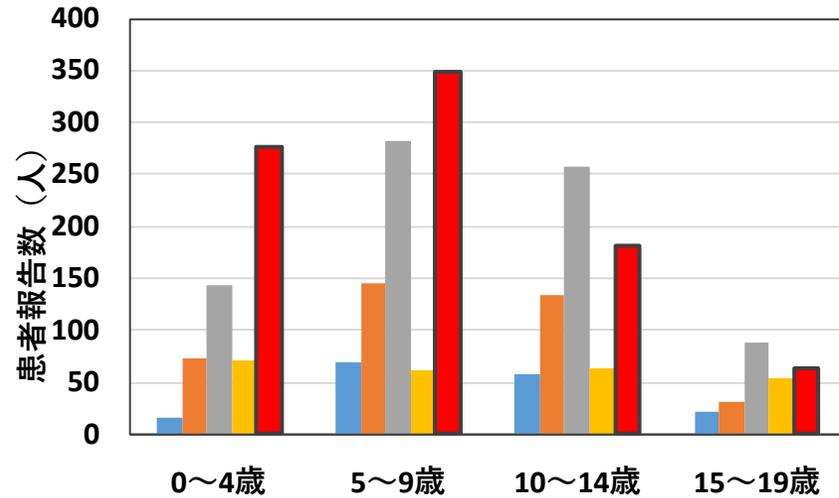
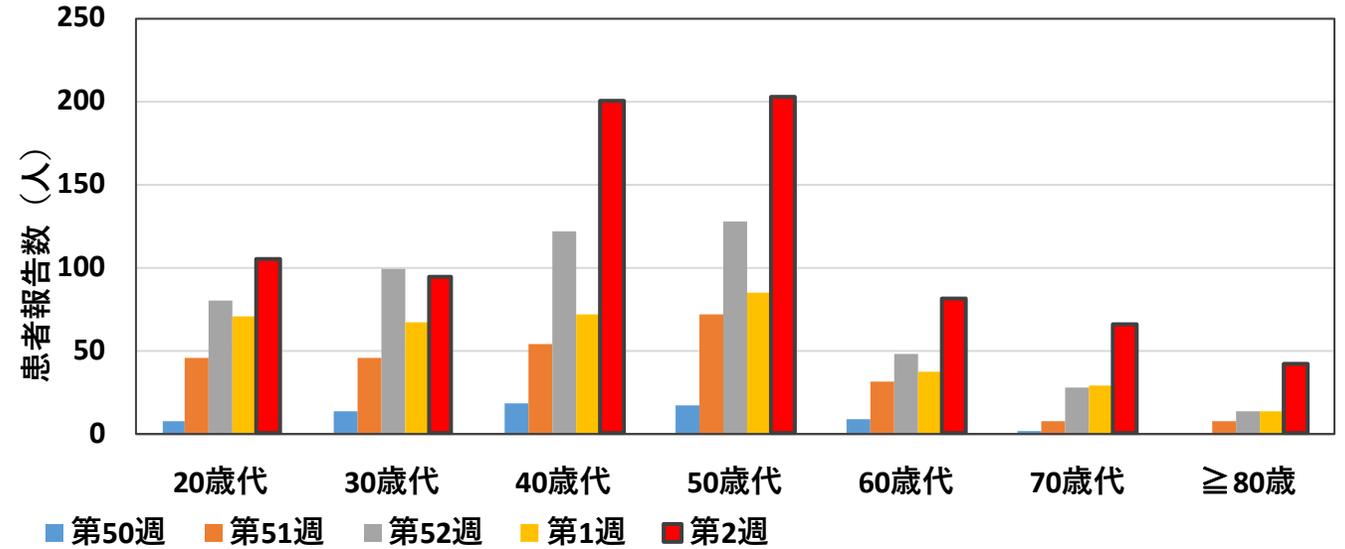


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- すべての年代で、先週から増加した。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第1週)

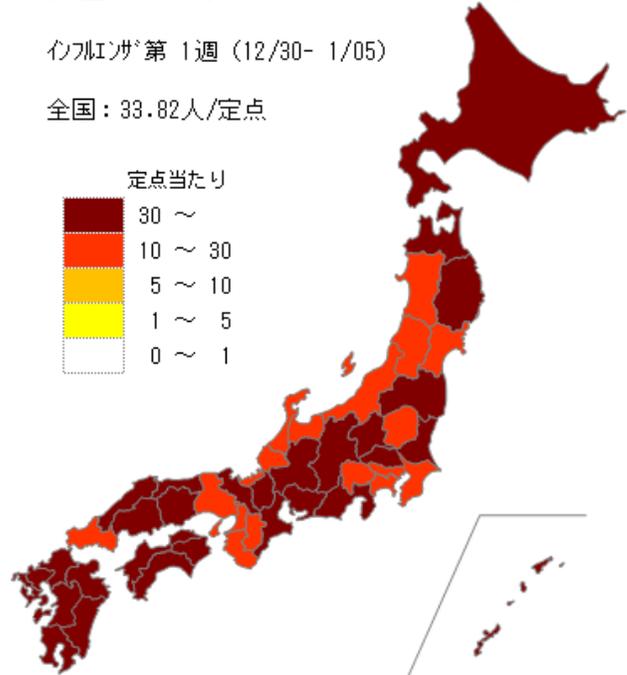
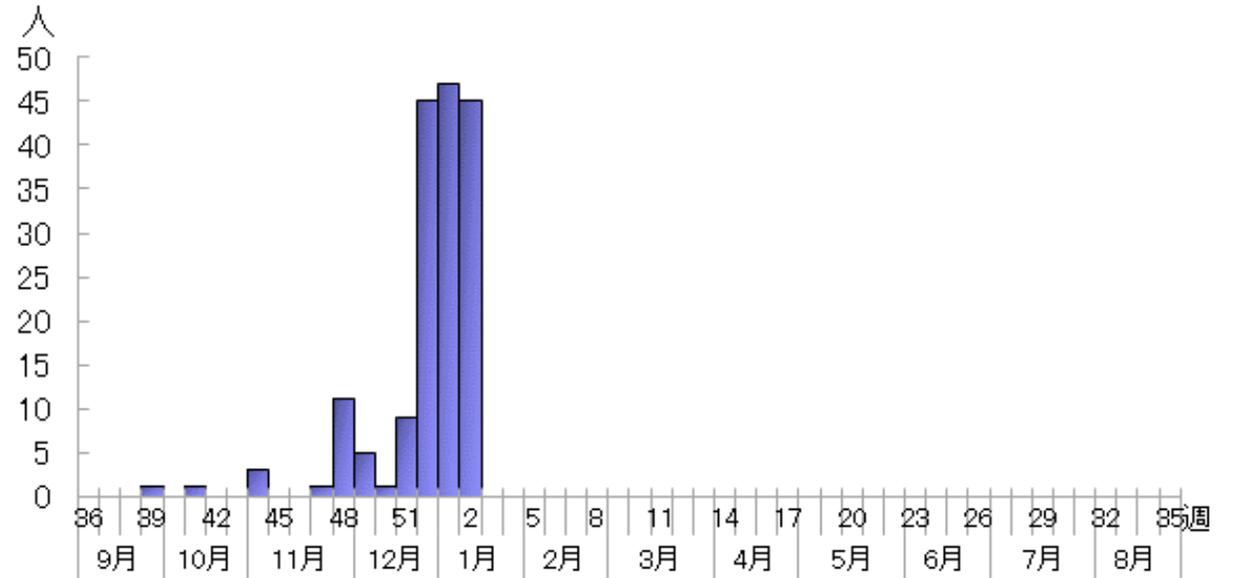


図5. インフルエンザ入院患者報告数(第2週)



- 全国では第1週に33.82人/定点となり、第52週(64.39)から減少した。第1週は、年末年始に定点医療機関が休診した影響により、流行状況を過小評価している可能性がある。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス(図5)では、今週45例(10歳未満:12例、20歳代:1例、30歳代:4例、40歳代:2例、50歳代:1例、60歳代:2例、70歳代:6例、80歳以上:17例)の報告があった。
- 県内のインフルエンザ定点の患者報告数は先週から大きく増加し、警報レベルの基準である30人/定点を超えた。学校や会社等の再開による感染拡大と考えられ、引き続き発生動向を注視する必要がある。第2週はインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告がなく、冬休みの影響と考えられた([富山県インフルエンザ関連情報](#))。